

リカバリー加重ブランケット MUSUBI-en-の特徴

KAPOK JAPAN

KAPOK KNOT HOME

1. 心地よい重さ — 睡眠の質を高める「加重設計」

加重ブランケットの背景には、ディープタッチプレッシャー（DTP）という考え方があります。

これは、身体にやさしい圧力を与えることでリラックス時に働く**副交感神経の活動を高める可能性**があるとされる感覚刺激のひとつです。研究では、この深部圧刺激によって入眠までの時間の短縮 睡眠の質の向上 夜間覚醒の減少などが報告されています。

近年では短時間の休息である**パワーナップ（仮眠）**においても、心身を素早く落ち着かせるサポートとして活用が広がっています。



全身に程よい加重設計
全身にぴったりフィット

海外のシステマティックレビューでも、加重ブランケットの使用が**睡眠の質改善や不安軽減に寄与する可能性**が示唆されています。

深部圧刺激（Deep Pressure Touch）によって副交感神経を刺激し、睡眠の質改善や不安軽減に寄与する可能性が報告されています。

Yu J, et al. (2024)

The effect of weighted blankets on sleep and related disorders: A systematic review

<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11056563/>

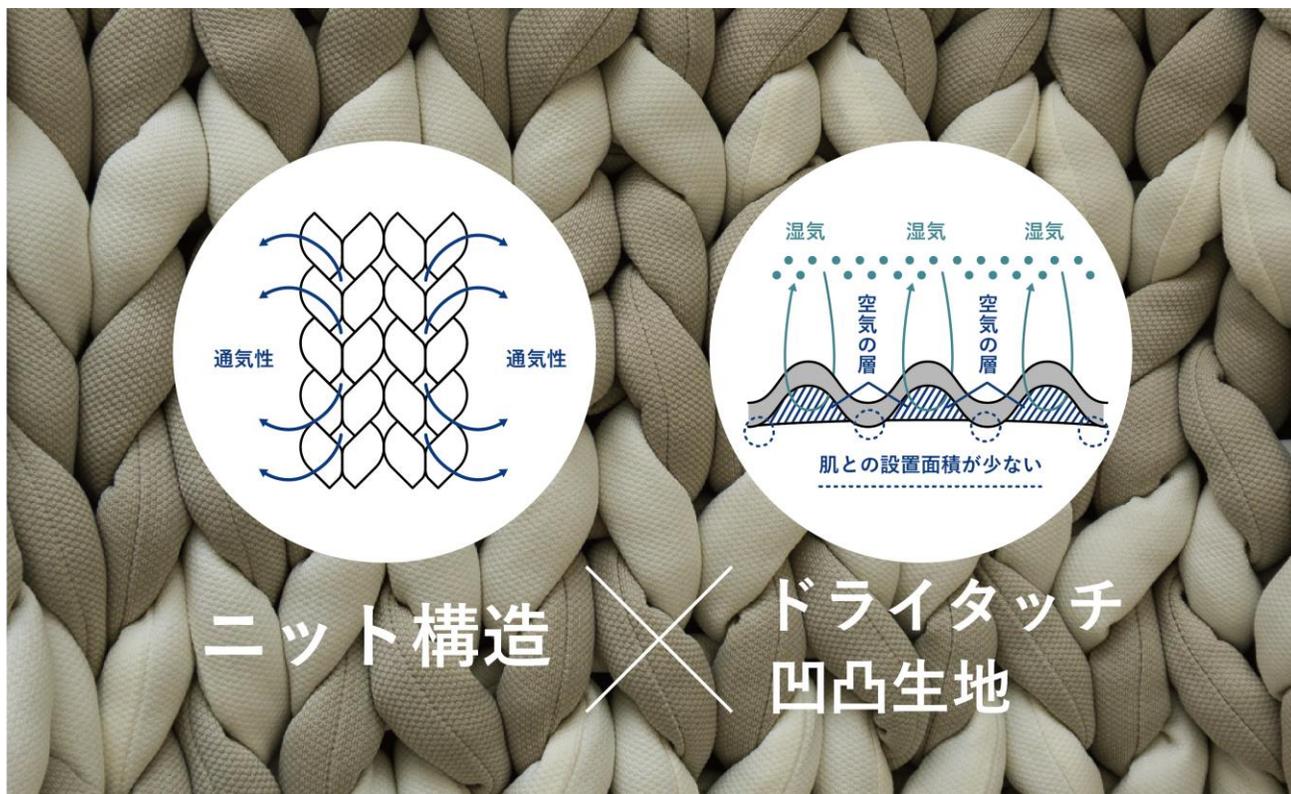
※研究によっては、**効果には個人差があることも示されており**、適切な設計や使用環境が重要とされています。

2. 重いのに、ムレにくい — 独自のあみあみ構造

一般的な加重ブランケットは、内部にビーズやチェーンを封入する**フラット構造**のため、

特に湿度の高い季節には・**ムレやすい**・**身体に密着しすぎる**

といった課題があります。リカバリー加重ブランケット MUSUBI は、手編みによる立体的な編み構造を採用。この構造により・**通気性**・身体への自然なフィット感を両立しています。



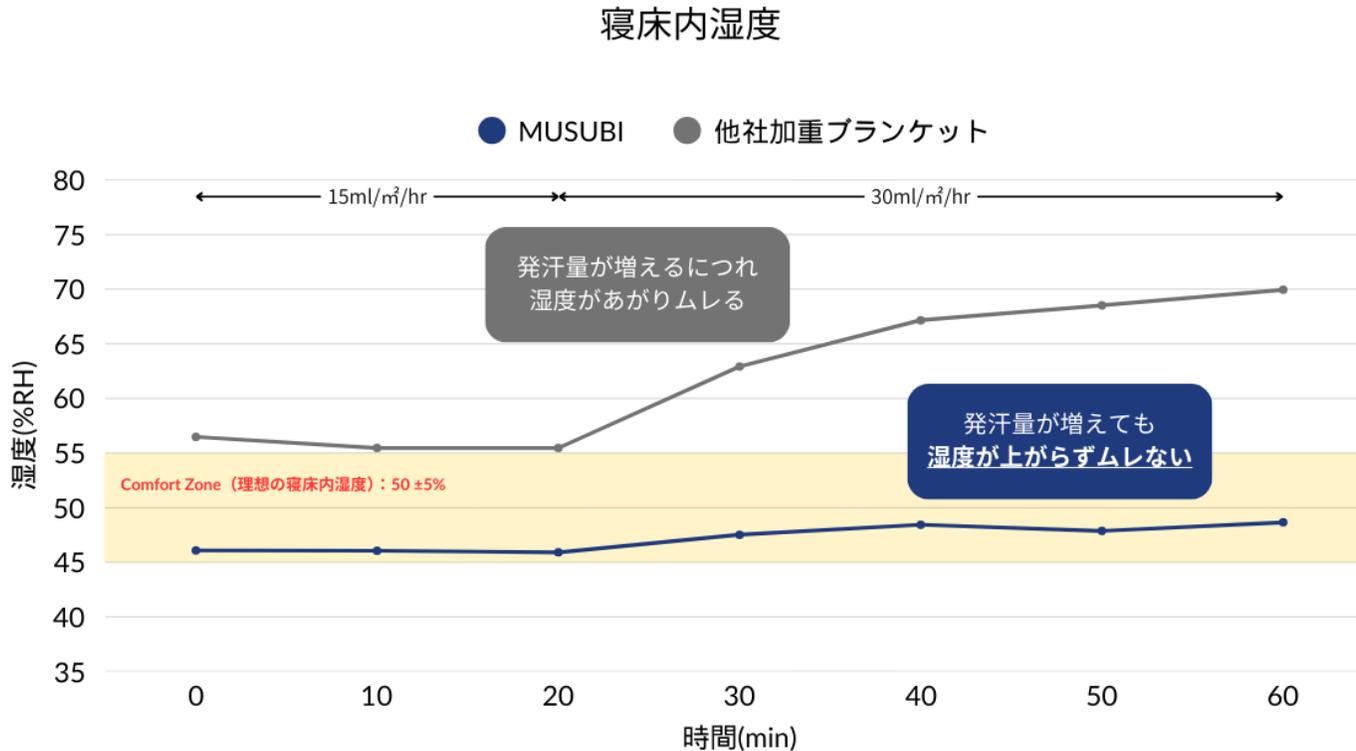
3. 寝床内湿度の比較試験でも「ムレにくさ」を確認

睡眠の質には、寝具と身体との寝床内環境が重要です。理想的な寝床内湿度は50% ± 5%とされています。

MUSUBI-en-と他社加重ブランケットの比較

発汗を想定したシミュレーション試験では、他社加重ブランケットと比較してMUSUBIは寝床内湿度を一定を保つ結果となりました。これは、独自の編み構造による通気性の高さによるものです。

そのため、重さによるムレを気にすることなく、一年を通して快適な睡眠環境をサポートします。



試験方法:

測定環境20°C 65%RHにて、発汗シミュレーターの熱板を34°C設定し、発汗量15ml/m²/hrにて運転。

20分後に発汗量30ml/m²/hrに設定し、60分間試料内湿度変化を測定。

4. 単一素材によるサステナブル設計

MUSUBI-en- では、複数素材を混合しない単一素材（モノマテリアル）での製品設計を採用しています。一般的に、複数素材を組み合わせた製品は使用後の分別が難しく、リサイクルが困難になります。一方、単一素材で作られた製品は**資源循環をしやすい**という特長があります。こうした選択を通じて、環境に配慮したサステナブルなもの作りを心がけています。

